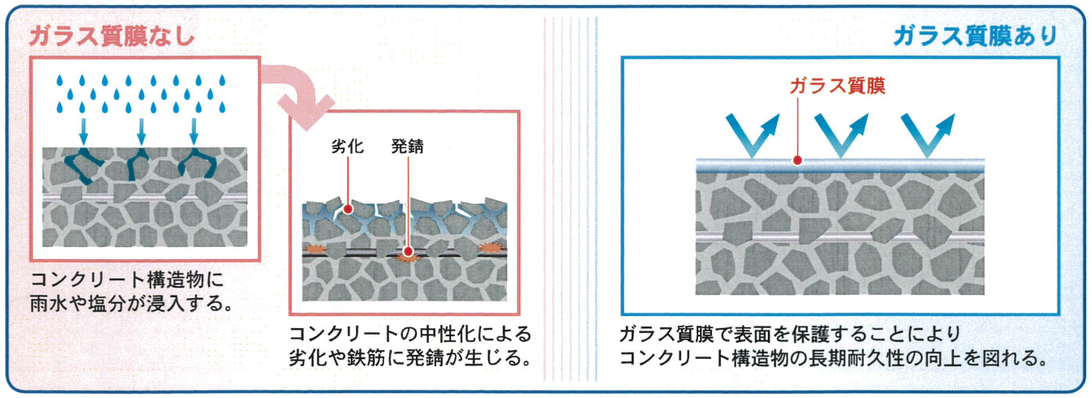
ワンダーコーティングシステム ― ガラスコートシリーズ ― は、構造物の延命を目的に開発された高性能塗装システムです。

『ワンダーコーティングシステム』のガラスコートシリーズは、薄く・常温でガラス質膜が形成できる、構造物のライフサイクルコスト低減に大きく貢献できる工法です。

通常のガラスは高温で溶融し急冷・固化により製造されますが、『ガラスコート－シリーズ』は一般のペンキのように薄く・常温で塗ることが可能で、乾けばガラス質膜が形成されます。
また、塗装する下地はコンクリートやスチールだけでなく、磁器タイル・プラスチック・木材・アルミニウムおよびステンレスなど多岐にわたり塗布することが可能です。

■国土交通大臣認定『不燃材料』
NEXCO西日本監修のトンネル内装塗装材料の基準試験において、性能評価試験結果に基づき適合する評価を受け、W-TN工法とW-C工法が「不燃材料」に大臣認定されました。

ガラス質膜によるコンクリート構造物保護のイメージ



特　長

◆長期維持機能
ガラス質膜が構造物表面を風雨や紫外線等から守ります。また、構造物の寿命を延ばしメンテナンスを容易にします。

◆汚れ防止機能
トンネル内壁やコンクリート打ち放し壁面など、排気ガスや降雨による汚れが付きにくく、汚れても落とし易くなります。

◆環境美化機能
ラッカー・シンナーが乗りにくく、貼り紙も接着しにくいので、落書きや貼り紙をされても簡単に除去できます。また、抑止効果も生まれます。

ガラスコートシリーズの用途に応じた工法（適用箇所についてはご相談ください）

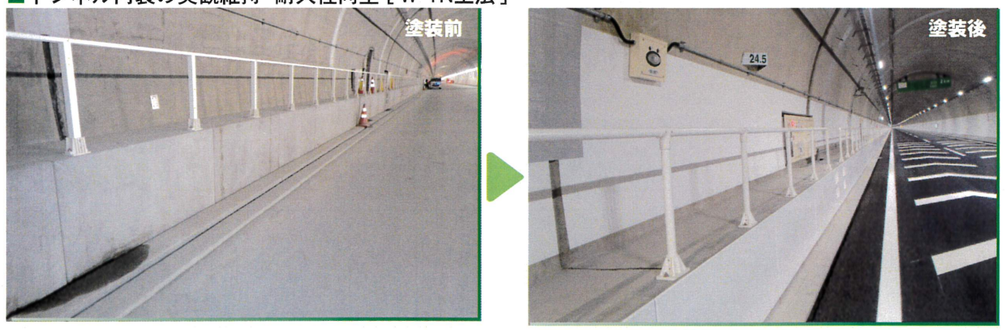
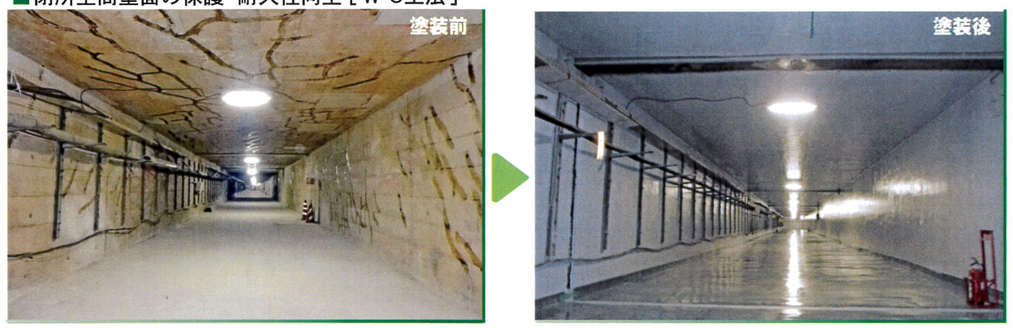
主な目的	工法名	塗膜構成・使用材料　塗布量(kg／㎡)	適用カ所
落書き防止 張り紙防止	W-G	2 600クリアー 0.04 1 100SGクリアー 0.06 各種基材面	タイル面・非鉄金属面・ 一般塗装面　等
トンネル内装保護	W-TN	3 600クリアー 0.04 2 100WBカラー 0.17 1 下地調整フィラー 0.6 コンクリート基材面	トンネル内装・橋脚・ カルバート壁面　等
閉所壁面等保護	W-C	3 700WBカラー 0.1 2 700WBカラー 0.1 1 下地調整フィラー 0.7 コンクリート基材面	閉所空間壁面　等
耐水・耐食対策	W-R	1 or 3500クリアー / 4000クリアー 0.04 各種基材面	一般塗装面・ 非鉄金属面　等

性能特性の一例

試験項目	試験方法	試験結果
塗料耐火性	発熱性試験	不燃
反射率・耐久性	NEXCO試験法 732	10サイクル 65%以上
付着強度	建研式直接引張試験	3.3 N/mm2
密着強度	JIS K5600 5.6 クロスカット法に準拠	はがれは生じない

ガラスコートシリーズの適用例

■トンネル内装の美観維持・耐久性向上［W-TN工法］



■閉所空間壁面の保護・耐久性向上［W-C工法］